

Mini-WAN

国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所発行(No.209)

三河港湾事務所だより

2025年2月号



* * * * * 小学生に港の役割を伝える出前講座を開催！ * * * * *

12月3日(火)、岡崎市立矢作南小学校からの依頼を受け「港の役割について」出前講座を開催しました。国土交通省港湾局が監修する『港の大研究』という教材が各小学校に配布されており、港とそこで働く人について、理解を深めてもらうことを目的に講座を行いました。

当日は130名ほどの5年生が参加。講座では、港が果たす物流拠点としての役割や、世界と地域をつなぐ窓口としての重要性を、スライドを使いながら分かりやすく説明しました。

講座が進むにつれ、子どもたちは次々に手を挙げ、「港にはどんな船が来るの?」「海外からどんなものが運ばれてくるの?」と積極的に質問をしてくれました。中にはメモを取りながら真剣な表情で聞き入る姿も見られ、港への関心の高さが感じられる場面が多くありました。

港は私たちの生活を支える重要な施設であると同時に、地域と世界をつなぐ架け橋でもあります。今回の講座を通じて、子どもたちが港に親しみを感じ、未来への興味を広げてくれるきっかけとなれば幸いです。

今後も引き続き、地域の皆さまに港で働く魅力を伝える活動を行ってまいります。



作業船紹介「クラブ浚渫船」

しゅんせつ

クラブ浚渫船は浚渫を行う作業船のひとつです。クラブと呼ばれるバケットを取り付けており、海底・川底の土砂を掘ることができ、深い場所での浚渫も可能な作業船です。

三河湾の入口にある中山水道航路の浚渫でもクラブ浚渫船が使われていました。その時に使用した株式会社小島組が所有するクラブ浚渫船「五祥」はギネス記録に認定されるほどの大きな船で、そのクラブは106m³もの容量を有しています。

家庭の湯舟の容量が大体0.2m³~0.3m³なので、お風呂400個分の水を1回でつかむことが可能です。ちなみに右の写真のクラブは30m³ですので「五祥」はその3倍の大きさのクラブを有しています。

三河湾の蒲郡地区に停泊していることがあるので、実際に大きさを見てみたい方は、ぜひ足を運んでみてください。

しゅんせつ

・浚渫とは
航路、水路、泊地などの海底、又は川底の土砂を掘る工事。



三河港湾事務所ホームページ <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>

三河港湾事務所公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>



みかわこうわん

三河港湾

検索



国土交通省 中部地方整備局

三河港湾事務所

公式Facebookページ



三河港の魅力を発信「カモメリア」

みなさんは豊橋市のシンボルの一つである「カモメリア」に行ったことがありますか？

今年5月で20周年を迎えるカモメリアは、三河港の役割と魅力を見て、触れて、学べる体験型の展示施設です。三河港は完成自動車の取り扱いが、輸入では金額・台数ともに31年連続全国1位、輸出では全国2位と、国内外の自動車メーカーの輸出入拠点として重要な港です。カモメリアは三河港の神野地区に位置しており、三河港に関する様々な展示物があります。

今回はカモメリアについてご紹介します。

1階は展示スペースとなっており、自動車専用船やコンテナの模型などがあります。三河港で働く人々を紹介するパネルやクイズもあり、港を勉強するのにぴったりの場所です。

展示スペースの奥には自動車が展示されています。国内外の自動車を扱うことから、豊橋市ではモーターショーイベントの開催もしています。2024年はのんほいパークとコラボレーションで開催されました。車好きの方は、ぜひチェックしてみてください。



救急救命艇

(株)新来島豊橋造船で作られた、本物の救急救命艇です。船内は暗く狭いですが、いざというときに船員や乗客の命を救う大切な設備です。



自動車専用船カットモデル

自動車専用船は自動車を他の港へ運ぶ船です。何層にも分かれた階層すべてに自動車をぎっしり積むことで、たくさんの自動車を一度に運ぶことができます。

キッズスペース

入口近くのキッズスペースにはレールと模型のおもちゃがあります。施設は冷暖房完備で快適ですし、1階カフェスペースは飲食OKなので、ぜひ家族で遊んでみてはいかがでしょうか。



4階展望室

地上30mの展望室からは三河港神野地区を一望できます。モータープールに自動車がずらっと並ぶ様子は圧巻です。

「カモメリアの4階の高さ」＝「ガントリークレーンの操縦席の高さ」。カモメリア敷地内にコンテナが置いてあり、操縦士はこの高さからクレーンゲームのように操縦することです。コンテナの四隅にクレーンの先端の爪を引っ掛けて…とイメージしてみるのも楽しいですね。

カモメリアは子どもたちに三河港を知ってもらうための重要な施設で、毎年秋には市内外・県外の小学生が見学に訪れます。豊橋の魅力を再発見できるカモメリアに、ぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか。



所在地：豊橋市神野ふ頭町3-29

開館時間：9:00～17:00

休館日：年末年始（12月29日～1月3日）

海とみなとの相談窓口

全国共通フリーダイヤル

おおいに よくなれ みなと
0120-497-370

受付時間※ 9:00～12:00と13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)
※一部の地域を除きます。

国土交通省
中部地方整備局



三河港湾事務所

〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1
TEL 0532-32-3251

衣浦港事務所

〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地
TEL 0569-21-2311

<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>